

学堂会リスト 2013.1 - 2020.03

学堂会 2020 年 3 月講演会<中止>

※本講演会は中止とさせていただきます。

日時：2020 年 3 月 19 日(木)18:00~19:45(通訳つき)開場 17:30

講演：倉石 寛(くらいし ひろし)氏

演題：「吉野源三郎はなぜ学校を語らなかったのかー教育の私化の行方」

場所：憲政記念会館 第一会議室

参加費：2000 円(学生は無料)

講師紹介：1946 年長野県生まれ。小学校:野口英世の生い立ちを描いた野外映画を覚えている。母子家庭の多い時代だった。中学 13 歳の時「君たちはどう生きるか」をラヂオ放送で聞き、「社会」というものをぼんやりと、しかし心に深く感じた。高校は進学校、受験で担任と喧嘩し、故郷を出たいというだけで東京の大学へ。大学は 1968 年大学闘争真ただ中で、吉野源三郎さんと出会った。大学を出たく思い、神戸の灘校の社会科教師になる。拾っていただいた恩もあり、最後は性に合わない管理職を続け、定年前立命館に助けてもらう。現在に至るまで、NPO 三つと沖縄・福島をメインに若者の裏方として「性に合った」活動をしている。

学堂会 2020 年 2 月講演会

日時：2020 年 2 月 27 日(木)18:00~19:45(通訳つき)開場 17:30

講演：出口 治明(でぐち はるあき)氏

演題：「世界の中の日本」

場所：憲政記念会館 第一会議室

参加費：2000 円(学生は無料)

講師紹介：1948 年三重県美杉村(現・津市)生まれ。立命館アジア太平洋大学(APU)学長。京都大学法学部(専攻:憲法)を卒業。1972 年日本生命保険相互会社入社、ロンドン現地法人社長、国際業務部長などを歴任。2008 年、ライフネット生命保険株式会社を開業、代表取締役社長に就任。2012 年、上場。2017 年、同社を退任。2018 年 1 月より現職。旅と読書をこよなく愛し、訪れた世界の都市は 1200 以上、読んだ本は 1 万冊を超える。主な著書(単著)に「生命保険入門(新版)」「人類 5000 年史(I・II)」「全世界史(上・下)」「座右の書「貞観政要」」「働き方」の教科書」「0 から学ぶ「日本史」講義」「知的生産術」「哲学と宗教全史」など、その他多数ある。

学堂会 2020 年 1 月講演会

日時：2020 年 1 月 16 日(木)18:00~19:45(通訳つき)開場 17:30

講演：Martin Blakeway(マーティン ブレイクウェイ)氏

演題：「いまこそ 歴史をつくる時」

場所：憲政記念会館 第一会議室

参加費：2000 円(学生は無料)

講師紹介：マーティン・ブレイクウェイ氏は、本や先生たちからは得られなかった答えを見つけるため、長年にわたり世界を旅していたのでした。母親がロシアに足を運ぶようになってからは、家族の中で最初に来日したのは1963年のことでした。そもそも母親を通じて抱いていた日本に対する愛情でしたが、実際に日本を訪れることによって自身が経験することになったのでした。日本とその未来に関する考えをまとめ、「歴史をつくる時—日本の役割」という英文の小冊子を書きましたが、この度、原不二子と坪沼悦子両氏により日本語訳され、富山房書店から発刊されることになりました。日本は世界の中の一員として果たす使命がある、という尾崎行雄の心情を継ぎ、そのためには個々人が日本の未来にかかわることを促す学堂会を原不二子がつくったことを褒めています。その為には、学堂会をプラットフォームとして全国に同様な組織のネットワークをつくる事を強く進めています。尾崎行雄の夢に応えるため、学堂会の躍進的な変革をどなたがリードするのですか、と問うています。

学堂会 2019 年 12 月講演会

日時：2019 年 12 月 17 日(火)18:00～19:45(通訳つき)開場 17:30

講演：孫崎 享(まごさき うける)氏

演題：「 「日本国の正体」を考える 」

場所：憲政記念会館 第一会議室

参加費：2000 円(学生は無料)

講師紹介:1943 年、旧満州国鞍山生まれ。66 年、東京大学法学部を中退し、外務省に入省。情報調査局分析課長、国際情報局長、駐イラン大使などを歴任。2002 年から防衛大学学校教授、09 年に退官。「日本外交 現場からの証言」(中公新書)で山本七平賞を受賞。著書はほかに「日米同盟の正体迷走する安全保証」(講談社現代新書)、「戦後史の正体」(創元社)、「日本国の正体 「異国の眼」 で見た真実の歴史」(毎日新聞出版)など。

学堂会 2019 年 11 月講演会

日時：2019 年 11 月 11 日(月)18:00～19:45(通訳つき)開場 17:30

講演：Dr Ravindra Rao (ラビンドラ ラオ) 氏・Mrs Jayashree Rao (ジャヤシュリー ラオ) 夫人

演題：「 デモクラシーとは ? 」

場所：衆議院第 2 議員会館 第一会議室

講師紹介：ラビンドラ ラオ氏は歯科大の学生時代から、マハトマ ガンジー翁の孫、ラジモハン ガンジー氏らと共に、より良い社会・平和構築のため、インド各地、英国ほか世界の人々のより良い人生を分かち合うために貢献してきた。10 年前に開業していた歯科医を退職し、マハラシュトラ州に所在する MRA/IofC アジアセンターの責任を担う。夫人が立ち

上げたパンチガニ村での環境問題の取り組みとしての村人による NGO グランパリを支えてきた。インド MRA/IofC 常任理事。ジャヤシュリー夫人も青年時代から新しいインド、世界平和のために貢献。経営管理を学び、バンガロー市で 30 年間 J. R. Rao & Co という機械制作取引会社を運営。インドで制作した機械をマザックという日本の会社にも販売。2007 年夫婦でインド IC センターのパンチガニに移り、IC センターの働きに貢献する。同年、IC センターがあるパンチガニ周辺の村でエコセンター'グランパリ'を立ち上げた。過去 10 年の働きで、個人の生き方が変わる事で、村の持続可能な開発の力となることが証明されてきた。

李 泳采(イ ヨンチュエ) 氏

日時： 2019 年 10 月 7 日(月)18:00~19:45(通訳つき)開場 17:30

講演： 李 泳采(イ ヨンチュエ) 氏

演題：「 3.1 朝鮮独立運動 100 年に考える日本と朝鮮半島 -日韓市民連帯のあり方とは 」

場所： 憲政記念館 第一会議室

参加費：2000 円(学生は無料)

講師紹介： 恵泉女学園大学教授。1971 年韓国生まれ。1998 年来日、専門は日韓・日朝関係。日韓の市民団体の交流のコーディネーター、韓国語、韓国映画や映像を通して現代を語る市民講座の講師を務める。「ヤスクニの間に平和の灯を！東アジア 4 地域（日本・韓国・台湾・沖縄）キャンドル行動実行委員会」事務局、光州 5. 18 財団発行の「アジアジャーナル」海外編集委員。著書に「韓流がつたえる現代韓国」（梨の木舎 2010）、「アイリスでわかる朝鮮半島の危機」（朝日新聞社 2010）、「なるほど！これが韓国か--- 名言・流行語・造語で知る現代史」（朝日新聞社 2006）、「犠牲の死を問う」（梨の木舎 2013）、「アングリーヤングボーターズ 韓国若者戦略的な選択」（梨の木舎 2016 年）、「いま、朝鮮半島は何を問いかけるのか民衆の平和と市民の役割・責任」（彩流社 2019 年）など多数。

学堂会 2019 年 9 月講演会

日時： 2019 年 9 月 12 日(木)18:00~19:45(通訳つき)開場 17:30

講演： 上 昌広(かみ まさひろ)氏

演題：「 現場からの医療改革 医師のプロフェッショナリズムとグローバル化 」

場所： 憲政記念館 第一会議室

参加費：2000 円(学生は無料)

講師紹介： 1993 年東大医学部卒。97 年同大学院修了。医学博士。虎の門病院、国立がんセンターにて造血器悪性腫瘍の臨床研究に従事。05 年より東大医科研探索医療ヒューマンネットワークシステム（現 先端医療社会コミュニケーションシステム）を主宰し医療ガバナンスを研究。2016 年より特定非営利活動法人・医療ガバナンス研究所 理事長

学堂会 2019 年 6 月講演会

日時： 2019 年 6 月 26 日(水)18:00～19:45(通訳つき)開場 17:30

講演： 望月衣塑子 (もちづき いそこ)氏

演題：「民主主義を問う ～安倍政権とメディア～」

場所：憲政記念館 第一会議室

参加費： 2000 円 (学生は無料)

講師紹介:東京新聞社会部記者。千葉、埼玉など各県警を担当し、東京地検特捜部、東京地高裁の裁判担を経て、出産後、経済部に復帰。社会部で武器輸出、軍学共同を主に取材。「世界」6月「国策化する武器輸出」「武器輸出と日本企業」(角川新書)「武器輸出大国日本でいいのか」(あけび書房)「科学」に防衛省の助成金制度など寄稿。

学堂会 2019 年 5 月講演会

日時： 2019 年 5 月 17 日(金)18:00～19:45(通訳つき)開場 17:30

講演： 佐高 信(さたか まこと)氏

演題：「国権と民権 - 平成政治家論」

場所： 憲政記念館 第一会議室

参加費：2000 円(学生は無料)

講師紹介：1945 年 山形県酒田市生まれ。慶大法学部法律学科卒。高校教師、経済誌の編集者を経て評論家となる。著書に「魯迅烈読」「逆命利君」(共に岩波現代文庫),「自民党と創価学会」(集英社新書)「佐高信の昭和史」(角川ソフィア文庫),「官房長官 菅義偉の陰謀」(河出書房新社),早野透との共著で「国権と民権」(集英社新書)などがある。

学堂会 2019 年 4 月講演会

日時： 2019 年 4 月 19 日(金)18:00～19:45(通訳つき)開場 17:30

講演： 元山 仁士郎(もとやま じんしろう)氏

演題：「沖縄県民投票を振り返って ～わたし達は沖縄の意思にどう応えるか～」

場所： 衆議院第 2 議員会館 第一会議室

講師紹介：1991 年生まれ。沖縄県宜野湾市出身。国際基督教大学卒業。一橋大学院修士課程在籍。沖縄県民投票の会代表。SEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動)や SEALDs RYUKYU の立ち上げ/中心メンバー。著書に「あきらめることをあきらめた 71 年目のデモクラシー」小森陽一、黒澤いつき、元山仁士郎、西郷南海子(「かもがわ出版」2016 年 4 月)。出演作品「不思議なクニの憲法」(松井久子監督、2016 年)。

学堂会 2019 年 3 月講演会

日時：2019 年 3 月 25 日(月)18:00～19:45(通訳つき)開場 17:30

講演： 浜 矩子(はま のりこ)氏

演題：「危うい日本の経済風景～下心政治の魔の手を振り払おう～」

場所：衆議院第2議員会館 第一会議室

講師紹介：1952年東京生まれ。'75年一橋大学卒業、三菱総合研究所入社。90～98年同社初ロンドン駐在員事務所長。帰国後、同社経済調査部長、政策経済研究センター主席研究員を経て、2002年より同志社大学大学院ビジネス研究科教授。エコノミスト。専門領域は国際経済学。著書「ついに始まった日本経済「崩壊」」(SBクリエイティブ、2018年)、「洗脳された日本経済」(日本文芸社、2019年)、「「通貨」の正体」(集英社、2019年)ほか。

学堂会 2019年 2月講演会

日時：2019年2月12日(火)18:00～19:45(通訳つき)開場 17:30

講演：内田 樹(うちだ たつる)氏

演題：「この国のゆくえ」

場所：憲政記念館 第一会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：2000円(学生は無料)

講歴紹介：1950年東京生まれ。思想家、武道家、神戸女学院大学名誉教授。東京大学文学部仏文科卒業、東京大学都立大学大学院博士課程中退。専門はフランス現代思想、武道論、教育論、映画論など。凱風館館長、合気道凱風館師範。著書に「ためらいの倫理学」(角川文庫)、「街場のアメリカ論」(文春文庫)、「私家版・ユダヤ文化論」(文春新書第6回小林秀雄賞受賞)、「日本辺境論」(新潮新書、新潮大賞2010受賞)、「日本の反知性主義」(編著、晶文社)、「街場の戦争論」(ミシマ社)、「日本戦後史論」(白井聡との共著、徳間書房)などがある。第3回伊丹十三賞受賞。

学堂会 2019年 1月講演会

日時：2019年1月24日(木)18:00～19:45(通訳つき)開場 17:30

講演：染川 友理江(そめかわ ゆりえ)氏

演題：「麻酔科医として、アジアの医療問題に向き合う」

場所：憲政記念館 第一会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：2000円(学生は無料)

講歴紹介：1988年1月16日鹿児島生まれ、茨城育ち。2014年、和歌山県立医科大学卒業。越谷市立病院での初期研修医を経て2016年より東京都立多摩総合医療センターで麻酔科勤務。2016年より途上国での医療支援に関わる。2018年より麻酔科医として日本で勤務を続けながら、帝京大学公衆衛生大学院修士過程に在籍し、途上国での研究や医療支援を行う。

学堂会 2018年 12月講演会

日時：2018年12月14日(金)18:00～19:45(通訳つき)開場 17:30

講演：孫崎 享(まごさき うける)氏

演題：「領土問題」

場所： 憲政記念館 第一会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費： 2000 円（学生は無料）

講歴紹介：1943 年生まれ。東京大学法学部中退、外務省入省。英国、ソ連、米国(ハーバード大学国際問題研究所研究員)、イラク、カナダ(公使)勤務を経て、駐ウズベキスタン大使、国際情報局長、駐イラン大使。2002 年から防衛大学校教授。公共政策学科長、人文社会学群長。2009 年退官。著書「日本外交 現場からの証言」(第二回山本七平賞受賞、中央公論新社)、「日米同盟の正体」、「情報と外」、「日本の領土問題 尖閣・竹島・北方領土」、「不愉快な現実」、「戦後史の正体」、「これから世界はどうなるか」、「小説外務省 尖閣問題の正体」など多数。最新作は「アーネスト・サトウと倒幕の時代」の予定。

学代会 2018 年 11 月講演会

日時：2018 年 11 月 7 日(水)18:00～19:45(通訳つき)開場 17:30

講演：江崎 禎英 (えさき よしひで) 氏

演題：「超高齢社会への対応 - 社会保障制度改革の視点 - 」

場所： 憲政記念館 第一会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：2000 円（学生は無料）

講歴紹介：岐阜県出身。1989 年東京大学教養学部国際関係論卒。通商産業省に入省、通商問題担当。出向した大蔵省で金融制度改革に携わる。96 年英国に留学し、引き続き EU(欧州委員会)に勤務。帰国後、IT 政策、ものづくり政策を担当。その後、資源エネルギー庁エネルギー政策企画室長、岐阜県商工労働部長、経済産業省生物化学産業課長、同ヘルスケア産業課長を経て、2017 年から経産省商務・サービスグループ政策統括調査官 兼 内閣官房健康・医療戦略室長。2018 年 9 月から厚生労働省 医政局 統括調整官に併任。

学代会 2018 年 10 月講演会

日時： 2018 年 10 月 3 日(水)18:00～19:45(通訳つき)開場 17:30

講演： 小出 裕章氏

演題：「フクシマ事故が示す日本の姿」

場所： 憲政記念館 第一会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費： 2000 円(学生は無料)

講歴紹介：1949 年生まれ。元京都大学原子炉実験所助教。東北大学工学部原子核工学卒、同大学院終了。専攻は放射線計測、原子力安全。伊方原発訴訟住民側証人。原子力の専門家として(ありながら)、そのリスクや問題点についての研究活動に势力的に取り組んでこられました。3 月 11 日の地震以降、東京電力のフクシマ第一原発について昼夜をわかつたず奮闘し続けておられます。主な著書に「小出裕章が答える原発と放射能」(河出書房新社)、「原発のウソ」(芙蓉社新書)、「原発のない世界へ」(筑摩書房)、「騙される原子力・核の真実」

(創始社)ほか多数ございます。

学堂会 2018 年 9 月講演会

日時：2018 年 9 月 21 日(金)18:00～19:45(通訳つき)開場 17:30

講演：白井 聡 (しらい さとし) 氏

演題：「戦後の国体」とその崩壊」

場所：憲政記念館 第一会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：2000 円(学生は無料)

講歴紹介：1977 年東京都生まれ。政治学者、早稲田大学政治学部政治学科卒業、一橋大学院社会学研究科博士課程単位修得退学。博士(社会学)。専攻は政治学・社会思想。京都精華大学人文学部専任講師。「永続敗戦論—戦後日本の核心」(太田出版)で、石橋湛山賞、角川財団学芸賞、いける本大賞を受賞。「近著に「国体論—菊と星条旗」(集英社新書)。」

学堂会 2018 年 6 月講演会

日時：2018 年 6 月 8 日(金)18:00～19:45(通訳つき)開場 17:30

講演：有光 健 氏 (ありみつ けん)

演題：「朝鮮半島の緊張緩和と日本の歴史的課題」

場所：憲政記念館 第一会議室 千代田区永田町 1-1-1

講師略歴：1951 年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。日本アジア・アフリカ作家会議、アジア人権基金などを経て、アジアの人権問題に取り組む。1993 年から「戦後補償ネットワーク」世話人代表、戦後処理の立法を求める法律家・有識者の会事務局長、「慰安婦」問題の立法解決を求める会事務局長、シベリア抑留者支援・記録センター代表世話人、韓国・朝鮮人 BC 級元戦犯「同進会」を応援する会世話人、韓国・朝鮮文化財返還問題連絡会議世話人代表。大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター客員研究員。

書籍：「未解決の戦後補償」(共著、創史社、2013.8.)、「未解決の戦後補償Ⅱ・戦後 70 年・残される課題」(共著、創史社、2015.8.)、論文：「戦争被害者と対話し、納得できる解決を」(「世界」臨時増刊、岩波書店、2009.12.)「戦後強制抑留者特別措置法」制定の経過と今後の課題」(「季刊戦争責任研究」69 号、2010.9.) ほか。

学堂会 2018 年 5 月講演会

日時：2018 年 5 月 8 日(火)18:00～19:45(通訳つき)開場 17:30

講演：前川 喜平氏(まえかわ きへい)

演題：「政治と教育のはざままで」

場所：憲政記念館 第一会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：2,000 円 (学生 無料)

講師紹介:1955 年 1 月奈良県御所市生まれ。1979 年 3 月東京大学法学部卒業、同 4 月文部

省に入省。大臣官房長、初等中等教育局長などを経て、2016年6月文部科学事務次官。2017年1月退官。

学堂会 2018年4月講演会

日時：2018年4月9日(月)18:00～19:45(通訳つき)開場 17:30

講演：相馬 行胤 氏(そうま みちたね)

演題：「相馬の現況と未来」

場所：憲政記念館 第一会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：2,000円(学生 無料)

講師紹介：1998年より、父親が北海道広尾郡大樹町で開業した牧場で働き、経営にも参画。東日本大震災後、NPO「相馬救援隊」を立ち上げ、相馬地方の被災者の支援にあたる。2013年3月、一家で神石高原町に移住し、被災者の移住、就業支援を推進する。

学堂会 2018年3月講演会

日時：2018年3月20日(火)18:00～19:45(通訳つき)開場 17:30

講演：福田 康夫 氏(ふくだ やすお)元 内閣総理大臣

演題：「日本の進む道」

場所：憲政記念館会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：2000円(学生は無料)

福田康夫氏 略歴

福田赳夫、三枝夫人の長男として東京にて1936年7月16日に誕生。出身地は群馬県高崎市。大学卒業後、石油会社で17年勤務した後、父、福田赳夫の秘書を14年勤め、1990年の第39回衆議院議員総選挙に旧群馬3区から出馬し初当選。その後、衆議院議員(7期)、内閣官房長官(第67・68・69代)、沖縄開発庁長官(第41代)、内閣府特命担当大臣(男女共同参画担当)、自由民主党総裁(第22代)、内閣総理大臣(第91代)などを歴任されました。

学堂会 2018年2月講演会

日時：2018年2月13日(火)17:00～19:45(通訳つき)開場 16:30

講演：松井 久子氏(まつい ひさこ)

演題：「不思議なクニの憲法」映画上映とお話し

場所：憲政記念館会議室 千代田区永田町 1-1-1

講師略歴：早稲田大学第一文学部演劇科卒業後、雑誌の編集者およびライターとして活躍。1985年には制作会社を立ち上げ、数多くのテレビ番組のプロデューサーとして精力的に活動。プロデューサー時代、惚れ込んだ1冊の小説の映画化に向けて、3年間かけて自ら約2億円の資金と協力制作者を集めた。監督・脚本を依頼した日本最高齢の映画監督・新藤兼人

氏より、「この映画のメガホンは、資金と協力者を集めたあなたが撮るべきだ。女性にしか撮れない映画がある」と背中を押されたことをきっかけに、50歳の時に「ユキエ」で映画監督デビューを果たす。同作品は企画から5年の歳月をかけて公開を迎え、多くの映画賞を受賞、演出力が絶賛された。第2作の「折り梅」も全国で上映会が続き、2004年春に観客動員が100万人を突破。3作目の「レオニー」も、その後のドキュメンタリー作品も、ファンが各地で上映会を開くなど松井作品を支持し応援するネットワークが全国的に広がっています。

学堂会 2018年 1月講演会

日時：2018年 1月10日(水)18:00~19:45 (通訳つき) 開場 17:30

講師：孫崎 享氏 (まごさき うける)

演題：「憲法改正と日本の安全保障」

場所：憲政記念館会議室 千代田区永田町 1-1-1

講師略歴：1943年生まれ。東京大学法学部中退、外務省入省。英国、ソ連、米国(ハーバード大学国際問題研究所研究員)、イラク、カナダ(公使)勤務を経て、駐ウズベキスタン大使、国際情報局長、駐イラン大使。2002年から防衛大学校教授。公共政策学科長、人文社会学群長。2009年退官。著書：「日本外交―現場からの証言―」(第二回山本七平賞受賞、中央公論新社)、「日米同盟の正体」、「情報と外交」、「日本の領土問題―尖閣・竹島・北方領土―」「不愉快な現実」「戦後史の正体」「これから世界はどうなるか」「小説外務省―尖閣問題の正体」など多数。

学堂会 2017年 12月講演会

日時：2017年 12月19日(火)17:00-18:45 (通訳つき)開場 16:45

講師：小倉 和夫 氏 (おぐらかずお)

演題：「朝鮮半島と日本 (回顧と展望)」

場所：衆議院第2議員会館第1会議室千代田区永田町 2-1-1

講師略歴：1938年生まれ。東京大学法学部卒業(法学士)、英国ケンブリッジ大学経済学部卒業(経済学士)。1962年に外務省入省し大臣官房文化交流部長、経済局長などを経て、駐ベトナム大使、駐韓国大使、駐フランス大使などを歴任。2003年独立行政法人国際交流基金初代理事長に就任。現在は同基金の顧問、日本財団パラリンピックサポートセンター理事長、青山学院大学特別招聘教授。

学堂会 2017年 11月講演会

日時：2017年 11月29日(水)18:00-19:45 (通訳つき)開場 17:45

講師：天木 直人氏 (あまき なおと)

演題：「いまこそこの国の政治の中に新党憲法9条が必要である―既存の政党、政治家をす

べて敵に回して私が東京21区から立候補した理由」

参加費：一般 1000 円、学生 500 円

場所：衆議院第2議員会館 第2会議室千代田区永田町 2-1-1

講師略歴：1947年、山口県下関市生まれ。京都大学法学部中退後、上級職として外務省入省。在マレーシア日本国公使、在オーストラリア日本国公使、在デトロイト日本国総領事などを経て、2001年2月から駐レバノン日本国特命全権大使。現在は評論・執筆活動が続ける。23万超のベストセラーになった「さらば外務省！」をはじめ、「さらば小泉純一郎！」「さらば日米同盟！」など著書多数。2017年10月の衆院選挙で、憲法9条を国是とし対米従属から自立する事を公約とする新党憲法9条を立ち上げ、東京21区から出馬、6655票の支持を得て、2019年の参院選に向けて再挑戦する事を公約。その思いに賛同する同志を募集中。

学堂会 2017年10月講演会

日時：2017年10月19日(木)17:00-18:45 (通訳つき)開場 16:45

講師：山城 博治氏 (やましろ ひろじ)

演題：「明日を切り拓く沖縄」

場所：参議院議員会館 101 会議室 千代田区永田町 2-1-1 (会場変更しました)

講師略歴：1952年沖縄県生まれ。法政大学卒業後、沖縄県庁に入庁。沖縄県職労副委員長、自治労沖縄県本部副委員長を経て2004年より沖縄平和運動センター事務局長、2013年議長就任。多くの平和・市民団体と連携し、活動。米軍基地建設反対運動の中で自身が逮捕・起訴され、5カ月間にわたって不当勾留された経験を踏まえ、2017年6月にはジュネーブの国連人権理事会で、日本政府による基地建設と人権侵害を報告した。

学堂会 2017年9月講演会

日時：2017年9月19日(火)17:00-18:45 (通訳つき)開場 16:30

講師：望月衣塑子 氏 (もちづき・いそこ)

演題：「軍産複合体と日本の未来を問う」

場所：衆議院議員第2議員会館 第一会議室 千代田区永田町 2-1-2

講師略歴：東京新聞社会部記者。千葉、埼玉など各県警を担当し、東京地検特部、東京地高裁の裁判担を経て、出産後、経済部に復帰。社会部で武器輸出、軍学共同を主に取材。「世界」6月「国策化する武器輸出」「武器輸出と日本企業」(角川新書)「武器輸出大国ニッポンでいいのか」(あけび書房)「科学」に防衛省の助成金制度など寄稿。

学堂会 2017年6月講演会

日時：2017年6月28日(水)17:00~18:45 (通訳つき)開場 16:30

講師：孫崎 享氏 (まごさき うける)

演題：「歴史を振り返り、いま考えることが必要なこと」

場所：衆議院議員第2議員会館 第2会議室千代田区永田町 2-1-2

講師略歴：1943年生まれ。東京大学法学部中退、外務省入省。英国、ソ連、米国(ハーバード大学国際問題研究所研究員)、イラク、カナダ(公使)勤務を経て、駐ウズベキスタン大使、国際情報局長、駐イラン大使。2002年から防衛大学校教授。公共政策学科長、人文社会学群長。2009年退官。著書：「日本外交―現場からの証言―」(第二回山本七平賞受賞、中央公論新社)、「日米同盟の正体」、「情報と外交」、「日本の領土問題―尖閣・竹島・北方領土―」「不愉快な現実」「戦後史の正体」「これから世界はどうなるか」「小説外務省―尖閣問題の正体」など多数。

学堂会 2017年 6月講演会

日時：2017年 6月 28日(水)17:00~18:45 (通訳つき) 開場 16:30

講師：孫崎 享氏 (まごさき うける)

演題：「歴史を振り返り、いま考えることが必要なこと」

場所：衆議院議員第2議員会館 第2会議室千代田区永田町 2-1-2

講師略歴：1943年生まれ。東京大学法学部中退、外務省入省。英国、ソ連、米国(ハーバード大学国際問題研究所研究員)、イラク、カナダ(公使)勤務を経て、駐ウズベキスタン大使、国際情報局長、駐イラン大使。2002年から防衛大学校教授。公共政策学科長、人文社会学群長。2009年退官。著書：「日本外交―現場からの証言―」(第二回山本七平賞受賞、中央公論新社)、「日米同盟の正体」、「情報と外交」、「日本の領土問題―尖閣・竹島・北方領土―」「不愉快な現実」「戦後史の正体」「これから世界はどうなるか」「小説外務省―尖閣問題の正体」など多数。

学堂会 2017年 5月講演会

学堂会 2017年 5月講演会

日時：2017年 5月 16日 (火) 18:00~19:45 (通訳つき) 開場 17:30

講師：西谷 修氏 (にしたに おさむ)

演題：「立憲体制のメルトダウンに抗して」

場所：衆議院議員第2議員会館 第一会議室 千代田区永田町 2-1-2

参加費：一般 1000円、学生 500円

講師略歴：1950年生まれ。東京大学法学部、東京都立大仏文大学院、パリ第8大学などで学ぶ。明治学院大学院教授、東京外語大学大学院教授を経て現在立教大学大学院文学研究科特任教授。著書に「不死のワンダーランド」(増補新版、青土社)、「世界史の臨界」(岩波書店)、「夜の鼓動にふれる」(ちくま文庫)、「戦争とは何だろうか」(ちくまプリマー新書)、「アメリカ、異形の制度空間」(講談社メチエ)など、訳書にブランショ「明かしえぬ共同体」(ちくま学芸文庫)、ルジャンドル「真理の帝国」(平凡社)などがある。

学堂会 2017 年 4 月講演会

日時：2017 年 4 月 27 日（木）18:00～19:45（通訳つき）開場 17:30

講師：鈴木 悌介氏(すずき ていすけ)

演題：「エネルギーから改めて経済を考える」

場所：衆議院議員第 2 議員会館 第一会議室 千代田区永田町 2-1-2

講師略歴：1955 年、神奈川県小田原市の鈴廣かまぼこの次男として生まれる。上智大学経済学部卒業後、アメリカにかまぼこ、すり身を普及させるため、現地法人の立ち上げと経営にあたる。91 年に帰国し家業の経営に参画。00～01 年小田原箱根商工会議所青年部会長、03 年日本商工会議所青年部会長、2009 年第 3 回ローカルサミット実行委員長などを歴任。現在、小田原箱根商工会議所副会頭、場所文化フォーラム会員など

学堂会 2017 年 3 月講演会

日時：2017 年 3 月 16 日（木）18:00～19:45（通訳つき）開場 17:30

講師：糸数慶子氏（いとかず けいこ）・福島みずほ氏（ふくしま みずほ）

演題：「子どもたちのために、いま、一番しておかなければならないこと」

場所：参議院議員会館 101 会議室 千代田区永田町 2-1-2 >>MAP

講師略歴:

糸数慶子氏：1947 年、沖縄県読谷村に生まれる。米軍占領下で育ち、基地の重圧と平和の尊さについて身をもって実感する。読谷高校卒業後、バスガイドとして平和の視点から沖縄を紹介し、平和ガイドのさきがけとなる。1992 年、「もっとピース、もっとフェア」を訴えて沖縄県議会議員選挙に初当選。3 期つとめる。2004 年 7 月、参議院選挙に出馬し全野党共闘で初当選。2006 年 11 月、沖縄県知事選挙に出馬。2007 年 7 月、参議院選挙で再選。2013 年 7 月に 3 選。2016 年 7 月には、伊波洋一参議院議員と会派「沖縄の風」を結成し、代表に就任。現在は、法務委員会、沖縄及び北方問題に関する特別委員会に所属。著書に、「沖縄の風よ薫れ」（2013 年・高文研）などがある。家族は夫・隆（久米島出身）との間に 3 人の娘と孫 7 人。

福島みずほ氏：宮崎県延岡市生まれ。1980 年東京大学法学部卒業。弁護士として夫婦別姓選択制、婚外子差別、外国人差別、セクシャル・ハラスメント、刑務所問題などに取り組む。1998 年 7 月社会民主党から参議院比例区で当選、現在 4 期目。2003 年～13 年社民党党首、2009 年～10 年内閣府特命担当大臣（男女共同参画等）。国会では、厚生労働委員会、消費者問題特別委員会、憲法審査会に所属。現在、社民党副党首。

学堂会 2017 年 2 月講演会

日時：2017 年 2 月 28 日（火）18:00～19:45（通訳つき）開場 17:30

講師：大貫 康雄（おおぬき やすお）氏

演題：「憲政における情報の役割」

場所：衆議院第二議員会館 第一会議室 千代田区永田町 2-1-2

講師略歴：1948年栃木県日光市生。1972年3月東京外国語大学卒。1972年4月NHK取材職員、福島局、横浜局記者。1980年報道局社会部遊軍記者。1988年LA支局長。1993年報道局国際部デスク。2000年ヨーロッパ総局長。社団法人さぽうと21評議員。社団法人協力隊を育てる会理事。社団法人ユーラシア21研究所理事。財団法人伊勢文化財団理事。インターネット「ニュースオプエド」定期出演。公益社団法人 自由報道協会代表理事。著書に「ヨーロッパ・メディアに見る日本・世界」（2005年自由国国民社出版）。

学代会 2017年 1月講演会

日時：2017年1月12日（木）17:00～18:45（通訳つき）開場 16:45

講師：袴田 茂樹（はかまだ しげき）氏

演題：「激動の国際情勢と首脳会談後の日露関係」

場所：衆議院第二議員会館 第一会議室 千代田区永田町 2-1-2

参加費：一般 1000円、学生 500円

講師略歴：1944年大阪生まれ。新潟県立大学教授、青山学院大学名誉教授。専門は現代ロシア論、国際政治学。関心は哲学から芸術論まで幅広い。東大卒、モスクワ大学大学院修了、東大国際関係論博士課程満期退学。芦屋大学教授、米プリンストン大学客員研究員、東大大学院客員教授、ロシア東欧学会代表理事などを歴任。サントリー学芸賞選考委員。著書は「深層の社会主義」（サントリー学芸賞）、「ロシアのジレンマ」、「文化のリアリティ」、「沈みゆく大国」、「現代ロシアを読み解く」、「世の掟に叛いて」他多数。

今月から学生の参加費は500円となります。

学代会 2016年 12月講演会

日時：2016年12月15日（木）18:00～19:45（通訳つき）開場 17:30

講師：孫崎 享氏

演題：「ゾルゲ事件と①第二次大戦と②冷戦」

場所：憲政記念会館 会議室 千代田区永田町 1-1-1

講師略歴：1943年生まれ。東京大学法学部中退、外務省入省。英国、ソ連、米国（ハーバード大学国際問題研究所研究員）、イラク、カナダ（公使）勤務を経て、駐ウズベキスタン大使、国際情報局長、駐イラン大使。2002年から防衛大学校教授。公共政策学科長、人文社会学群長。2009年退官。著書：「日本外交—現場からの証言—」（第二回山本七平賞受賞、中央公論新社）、「日米同盟の正体」、「情報と外交」、「日本の領土問題—尖閣・竹島・北方領土—」「不愉快な現実」「戦後史の正体」「これから世界はどうなるか」「小説外務省—尖閣問題の正体」など多数。

学堂会 2016 年 11 月講演会

日時：2016 年 11 月 7 日(月)18:00～19:45（日英通訳あり）開場 17:45

講師：ニケトウ イラル氏(Mr.Niketun Iralu)・イマッド カラム氏(Dr.Imad Karam)

場所：衆議院第 2 議員会館 会議室 千代田区永田町 2-1- 2

演題：「国際関係は国際協調の精神から」

Mr. NIKETU IRALU（ニケトウ イラル氏）前 IC インターナショナル評議員]

インド北東ナガランド州出身。1957 年、マドラス大学で学んだ後 MRA/IofC の専従者として、インド各地および、世界各国で IofC 活動に従事。1995 年から出身地のインド北東地方ナガランドに拠点を移し、チベットとビルマの少数民族との間の和解、インド北東地方でのヒンズー教徒とイスラム教徒との和解と癒しをもたらす活動を行った。また、ナガランド州が抱える麻薬・アルコール依存から立ち直るためのリハビリセンターとして、本格的なカウンセリングを提供する「ナガ母親協会」の設立を手がけた。現在ニューデリーの東北地域政策研究所の理事を務めている。

Dr. IMAD KARAM（イマッド カラム博士）[IC インターナショナル事務局長]

パレスチナ ガザ出身。40 才。妻と 4 才の息子の 3 人家族、ロンドン在住。ロンドンにて、メディアにおけるアラブ青年のアイデンティティーについて専攻し、メディア・コミュニケーション学の Ph.D.を取得。映画監督としてカラム博士は 南アフリカのアパルト政策後に、和解と癒しをもたらした二人(黒人と白人)の実話を描いた最新作の「許しの彼方へ」で、世界ドキュメンタリー賞を受賞。

学堂会 2016 年 10 月講演会

日時: 2016 年 10 月 18 日(火)18:00～19:45（日英通訳あり）開場 17:45

講師：マーティン ファクラー 氏 (Martin Fackler)

場所：憲政記念館 会議室 千代田区永田町 1-1- 1

演題：「報道の自由と民主政治の前に立ちはだかる権力」

講師紹介： 1966 年生まれ。米国ジョージア州出身。91 年ダートマス大学の卒業後、東京大学大学院に国費留学。イリノイ大学でジャーナリズムの修士号、カリフォルニア大学バークレー校でも歴史学の修士号を取得。96 年からブルームバーグ東京支局、AP 通信社ニューヨーク本社、同東京支局、同北京支局、同上海支局で記者の経験を重ね、2003 年にウォールストリートジャーナルの東京支局の特派員となる。2005 年からニューヨークタイムズ記者となり、2009 年から 2015 年まで東京支局長。2011 年 3 月 11 日の東日本大震災直後から被災地取材し、東北各地の被害を伝えるとともに、福島第一原子力発電所の事故、また日本の原子力行政や原発を巡る利権構造などについて調査報道を続けたことにより、2012 年ピューリッツァ賞のファイナリスト（次点）にノミネートされた。2005 年には、インド洋津波の取材において、アジア出版協会（The Society of Publishers in Asia）から国際報道賞を受賞した。著書「「本当のこと」を伝えない日本の新聞」（2012 年）、

「崖っぷち国家 日本の決断」(2015年)、「安倍政権にひれ伏す日本のメディア」(2016年)など。著書に、「本当のことを伝えない日本の新聞」双葉社、「安倍政権にひれ伏すメディア」双葉社、孫崎享氏と共著で「崖っぷち国家 日本の決断」日本文芸社、他。講演は日本語でなされます。

学代会 2016年9月講演会

日時：2016年9月16日(金)17:00～19:30 (日英通訳あり) 開場 16:45

講師：小出 裕章 氏 (こいで ひろあき)

場所：憲政記念館 会議室 千代田区永田町 1-1-1

演題：「原子力と核、戦争、個人の自立」

講師紹介：1949年生まれ。元京都大学原子炉実験所助教。東北大学工学部原子核工学科卒、同大学院修了。専攻は放射線計測、原子力安全。伊方原発訴訟住民側証人。原子力の専門家でありながら、そのリスクや問題点についての研究活動に精力的に取り組んでこられました。3月11日の地震以降、東京電力の福島第一原発について昼夜を分かたず奮闘し続けておられます。主な著書に「小出裕章が答える原発と放射能」(河出 書房新社)、「原発のウソ」(扶桑社新書)、「原発のない世界へ」(筑摩書房)、「隠される原子力・核の真実」(創史社)ほか多数がございます。

学代会 2016年6月講演会

会場が憲政記念館に変更になりました。時間の変更はありません。

日時：2016年6月2日(木)17:00～18:45 (日英通訳あり) 開場 16:45

講師：浜 矩子氏(はま のりこ)

場所：憲政記念館 千代田区永田町 1-1-1

演題：「民主主義のための経済学～カネのヒト化を許さない～」

講師紹介：1952年東京生まれ。'75年一橋大学卒業、三菱総合研究所入社。90～98年同社初ロンドン駐在員事務所長。帰国後、同社経済調査部長、政策経済研究センター主席を経て、2002年より同志社大学大学院ビジネス研究科教授。エコノミスト。専門領域は国際経済学。著書「さらばアホノミクス危機の真相」(毎日新聞出版、15年)、「民主主義をあきらめない」(岩波ブックレット、15年、共著)、「国民なき経済成長」(角川新書、15年)ほか。

学代会 2016年5月講演会

日時：2016年5月13日(金)18:00～19:45 (日英通訳あり) 開場 17:45

講師：孫崎 享 氏・ラジモハン ガンジー 氏

場所：憲政記念館 会議室 千代田区永田町 1-1-1

演題：「今という時代をどう生きるか」

講師紹介：孫崎 享氏 1943年生まれ。東京大学法学部中退、外務省入省。英国、ソ連、米

国(ハーバード大学国際問題研究所研究員)、イラク、カナダ(公使)勤務を経て、駐ウズベキスタン大使、国際情報局長、駐イラン大使。2002年から防衛大学校教授。公共政策学科長、人文社会学群長。2009年退官。

著書:「日本外交―現場からの証言―」(第二回山本七平賞受賞、中央公論新社)、「日米同盟の正体」、「情報と外交」、「日本の領土問題―尖閣・竹島・北方領土―」「不愉快な現実」「戦後史の正体」「これから世界はどうなるか」「小説外務省―尖閣問題の正体」など多数。

ラジモハン・ガンジー氏: マハトマ・ガンジー翁の孫。著者、史家、元インド議会議員。2012年12月まで、米国イリノイ大学主キャンパス(アーバナ・シャンペーン)で南アジア・中東研究センターでリサーチ教授として努めた。著書も多く、近著の祖父ガンジー翁伝は、2007年12月インド歴史学会ビエンナーレ・パープジャリ賞を授賞。1990年にはジュネーブに於ける国連人権委員会にインド代表団長として参加。1992-2000年ニューデリー政策研究所の研究教授。1956年よりイニシアチブ・オブ・チェンジ(IC,旧MRA)に関わり国際IC会長を(2009-2010年)務めた。

学堂会 2016年4月講演会

日時: 2016年4月21日(木)18:00-19:45(日英通訳あり) 開場 17:45

講師: 村田光平氏

場所: 衆議院第二議員会館 第5会議室

演題: 「原発事故と真っ正面から向き合う～直面する国家の危機」

講師紹介: 1938年東京生まれ。1961年東京大学法学部卒。1962年外務省入省。研修生として2年間フランスに留学。その後、分析課長、中近東第一課長、宮内庁御用係、在アルジェリア公師、在仏講師、国連局審議官、公正取引委員会官房審議官、在セネガル大使、衆議院渉外部長、スイス大使など歴任。現在、地球システム・倫理学会理事、日本ナショナルトラスト顧問、日本インテリジェンス協会顧問。東海学園大学名誉教授、アルベール・シュワイツァー国際大学名誉教授、天津科技大学名誉教授。著書に「新しい文明の提唱―未来の世代へ捧げる―」(文芸者刊)、「原子力と日本病」(朝日新聞社刊)、共著に「歴史の危機の入り口にたつ日本」(ごま書房刊、「現代文明を問う」(中国語と日本語の冊子)がある。

学堂会 2016年3月講演会

日時: 2016年3月29日(火)18:00~19:45(日英通訳あり) 開場 17:45

講師: 番場 さち子氏・石崎 芳行氏

場所: 衆議院第二議員会館 千代田区永田町 2-1-2

演題: 「次の世代のため、新しい明日を築くために」

講師紹介: 番場 さち子氏: ベテランママの会代表、一般社団法人番来舎代表理事。福島県原町(現南相馬市)出身。震災後被災者たちの相談に応じる市民団体「ベテランママの会」を設立。2015年「日本復興の光大賞」(NPO法人日本トルコ文化交流会)受賞。

石崎 芳行氏: 東京電力株式会社代表執行役副社長 福島復興本社社長。1953年東京生まれ。慶応義塾大学法学部卒。1977年東京電力に入社。本社広報部長、福島第二原発所長を歴任。2012年、代表執行役副社長就任。13年より現職。福島県内に常駐し、賠償、除染、復興推進を陣頭指揮。

学代会 2016年 2月講演会

日時: 2016年2月16日(火)18:00~19:45 (日英通訳あり) 開場 17:45

講師: 小林 節 (こばやし せつ) 氏

場所: 衆議院第二議員会館多目的会議室 千代田区永田町 2-1-2

演題: 「民主主義をあきらめない」

講師紹介: 慶応義塾大学名誉教授、弁護士。法学博士、名誉博士(モンゴル、オトウゴンテングル大)。1949年東京都生まれ。1977年慶大大学院法学研究科博士課程修了。ハーバード大学ロー・スクール客員研究員等を経て、1989年 - 2014年慶大教授。その間、北京大学招聘教授、ハーバード大学ケネディー・スクール・オヴ・ガヴァメント研究員等を兼務。2014年より慶大名誉教授。著書に「「憲法」改正と改悪」(時事通信社)、「憲法改正の覚悟はあるか」(KKベストセラーズ) 他。

学代会 2016年 1月講演会

日時: 2016年1月29日(金)18:00~19:45 (日英通訳あり) 開場 17:30

講師: 柳澤 協二 氏

場所: 衆議院第二議員会館第一会議室 千代田区永田町 2-1-2

演題: 「安保法制・戦争・国民」

講師紹介: 1946年東京生まれ。1970東大法卒、防衛庁。運用局長・人事教育局長・官房長・防衛研究所長。2003年~09年 小泉・安倍・福田・麻生政権で内閣官房副長官補(安全保障・危機管理担当)。現在・NPO国際地政学研究所理事長、自衛隊を活かす会代表。主著・「抑止力を問う(共著)」(2010かもがわ出版)「官邸のイラク戦争」(2013岩波書店)「亡国の安保政策」(2014岩波書店)「自衛隊の転機・政治と軍事の矛盾を問う」(2015NHK出版)

学代会 2015年 12月講演会

日時: 2015年12月4日(金)17:00~18:45 (日英通訳あり) 開場 16:30

講師: 日野原 重明 氏

場所: 衆議院第二議員会館 1F 多目的会議室 千代田区永田町 2-1-2

演題: 「平和といのちこそ」

講師紹介: 1911年(明治44年)10月4日、山口県山口市生まれ。1941年聖路加国際病院に内科医として赴任。1951年 米国エモリー大学に留学。1973年(財)ライフ・プランニング・

センターを設立。1992年聖路加国際病院院長に就任、現在同名誉院長、聖路加国際大学名誉理事長。2000年「新老人の会」を結成。2005年文化勲章受章。2007年日本ユニセフ協会大使に就任。

学堂会 2015年 10月講演会

日時：2015年10月1日（木）17:00～18:45（日英通訳あり）開場 16:30

講師：白井 聡 氏

演題：「永続敗戦レジームの終焉に向けて」

場所：衆議院第二議員会館 第一会議室 千代田区永田町 2-1-2

講師紹介：政治学、社会思想研究者。東京都生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。一橋大学大学院社会学研究科総合社会科学専攻博士後期課程単位修得退学。博士（社会学）。主にロシア革命の指導者であるレーニンの政治思想をテーマとした研究を手掛けてきたが、3.11を基点に日本現代史を論じた「永続敗戦論——戦後日本の核心」（太田出版）により、第4回いける本大賞、第35回石橋湛山賞、第12回角川財団学芸賞を受賞。著書に「未完のレーニン」（講談社、2007年）、「物質」の蜂起をめざして」（作品社、2010年）。文化学園大学助教を経て、現在京都精華大学専任講師。

学堂会 2015年 9月講演会

日時：2015年9月15日（火）18:00～20:00（通訳つき）開場 17:30

講師：崔 勝久氏

演題：「日韓のはざま・在日の視点から見える世界」

場所：憲政記念会館 会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：一般 2000円、学生 1000円（軽食つき）

講師紹介：大阪生まれ「在日」2世。20歳半ばで民族差別を糺す「日立闘争」に出会いその勝利の後、在日韓国川崎教会・青丘社を中心に地域活動を始める。児童手当などの国籍条項撤廃の運動などの経験をもつ。現在、原発メーカーの責任を問う世界初の訴訟をはじめ。NPO 法人 NNAA 副理事長。「原発体制を問うキリスト者ネットワーク」（CNFE）共同代表

学堂会 2015年 6月講演会

日時：2015年6月24日（水）18:00～20:00（通訳つき）開場 17:30

講師：ソン スベール氏（カンボジア国王顧問）

演題：「諦めず、希望を抱いて」

場所：憲政記念会館 会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：一般 2000円、学生 1000円

講師略歴：国王顧問(High Privy Council of His Majesty the King of Cambodia.)ソルボンヌ

大学大学院フランス、ラテン、ギリシャ語古典修士課程修了、パリ、ルーブル大学院で考古学修士課程修了、法学博士課程カナダ レスブリッジ大学大学院から授与。1980-2010 国王に指名され憲法評議委員を務める。プノンペン王立芸術大学考古学教授。1993-1998 カンボジア議会第2副議長を務める。1998 ソン サン派党首に選出される。1993-1998 カンボジア赤十字服議長を務める。1993 UNTAC 国連カンボジア暫定機構監督による選挙で国会議員に選出され、第2副議長に選出される。1992 議会で、仏教自由民主党の委員長に選出される。1982-1991 国連公認のカンボジア連立政府首相の補佐として外交を担当。1979-1982 クメール民族解放戦線人道支援メンバー

学堂会 2015 年 5 月講演会

日時：2015 年 5 月 19 日（火）18:00～20:00（通訳つき）開場 17:30

講師：糸数 慶子氏

演題：「オール沖縄—沖縄が切り拓く新しい道」

場所：憲政記念会館 会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：一般 2000 円、学生 1000 円

講師略歴：1947 年、沖縄県読谷村に生まれる。米軍占領下で育ち、基地の重圧と平和の尊さについて身をもって実感。読谷高校を卒業後にバスガイドとして、常に平和の視点と自然や文化にスポットを当てて沖縄を紹介。1992 年の県議会議員選挙で当選。市民本位の政治とチャレンジ精神の旺盛さが幅広い支持を集め、3 期連続の当選を果たす。2004 年 7 月の参議院議員選挙・沖縄選挙区で全野党共闘の力で初当選。2006 年 11 月沖縄県知事選に出馬。2007 年 7 月参議院選挙で再選（37 万 6460 票）。2013 年 7 月に 3 選。現在、国会内では無所属、外交防衛委員会委員。沖縄社会大衆党委員長。平和、環境、教育、女性問題を柱に活動を続けている。著書に、「いのちの声 — 女性・環境・平和の視点から」（2000 年）、「沖縄にカジノは必要か？」（共著・2003 年）、「沖縄—平和への道」（2005 年）。「沖縄戦と平和ガイド」（2008 年）。「沖縄の風よ 薫れ」（2013 年・高文研） 家族は夫・隆（久米島）との間に 3 人の娘と孫 6 人。

学堂会 2015 年 4 月講演会

日時：2015 年 4 月 22 日（水）18:00～20:00（通訳つき）開場 17:30

講師：伊勢 桃代氏

演題：「いま、言いたいこと— 庶民の選択」

場所：憲政記念会館 会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：一般 2000 円、学生 1000 円

講師略歴：伊勢 桃代 氏 慶応義塾大学卒業後、アメリカシラキューズ大学で計量社会学、コロンビア大学で都市計画を専攻、ハーバード大学で比較文化研究に携わる。1965 年ころからアメリカ中央政府による人種差別撤廃と反貧困政策事業に携わる。1970 年から 28 年

間国連ニューヨーク本部にて経済・社会開発、国連人材開発の仕事を担当。又、国連大学創設に関わり初代事務局長を務める。定年退職後、アジア女性基金専務理事兼事務局長に就任、後、広島 AICJ 中学・高校理事長を務める。現在、日本国連協会理事、国連システム元国際公務員日本協会会長。

学堂会 2015 年 3 月講演会

日時：2015 年 3 月 31 日（火）18:00～20:00（通訳つき）開場 17:30

講師：今田高俊 氏

演題：「行き場のない核のごみーもうひとつの原発問題」

場所：憲政記念会館 会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：一般 2000 円、学生 1000 円

講師略歴：今田高俊(いまだ たかとし) 社会学者 東京工業大学名誉教授。東京工業大学に文系の大学院である社会理工学研究科を設立。日本学術会議会員。2008 年、紫綬褒章受賞。

学堂会 2015 年 特別講演会(3 月 20 日)

日時：2015 年 3 月 20 日（金）18:00～20:00（通訳つき）開場 17:30

講師：孫崎 享氏

演題：「孫崎 享氏に伺う 敗戦 70 年に学ぶこと」

場所：憲政記念会館 会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：一般 2000 円、学生 1000 円

講師略歴：1943 年生まれ。東京大学法学部中退、外務省入省。英国、ソ連、米国(ハーバード大学国際問題研究所研究員)、イラク、カナダ(公使)勤務を経て、駐ウズベキスタン大使、国際情報局長、駐イラン大使。2002 年から防衛大学校教授。公共政策学科長、人文社会学群長。2009 年退官。著書：「日本外交ー現場からの証言ー」(第二回山本七平賞受賞、中央公論新社)、「日米同盟の正体」、「情報と外交」、「日本の領土問題ー尖閣・竹島・北方領土ー」「不愉快な現実」「戦後史の正体」「これから世界はどうなるか」「小説外務省ー尖閣問題の正体」など多数

学堂会 2015 年 年頭講演会(2 月 9 日)

日時：2015 年 2 月 9 日（月）18:00～20:00（通訳つき）開場 17:30

講師：山岸 良太 氏

演題：「歴史のけじめー日本の選択」

場所：憲政記念会館 会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：一般 2000 円、学生 1000 円（軽食つき）

講師略歴：1978 年 3 月東京大学法学部 卒。1980 年弁護士登録

1999 年 4 月から第二東京弁護士会副会長、2013 年 4 月から第二東京弁護士会会長。

日本弁護士連合会副会長等を歴任し、2014年6月から日弁連憲法問題対策本部本部長 代行を務める。(本部長は日本弁護士連合会会長村越進弁護士)。著書・論文に「「社外取締役ガイドライン」の解説」(株式会社商事法務)、「法と実務 vol.9 司法改革の奇跡と展望」(株式会社商事法務)、「なぜ集团的自衛権の行使容認に反対するのか日本弁護士連合会の見解と取り組み」(世界 2014年8月号 No.859,岩波書店)等。

学堂会 2014年 12月講演会

日時：2014年12月4日(木) 18:00~20:00(通訳つき) 開場 17:30

講師：カレル・ヴァン・ウォルフレン 氏

演題：「民主政治とは 庶民の政治」

場所：憲政記念会館 会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：一般 2000円、学生 1000円 (軽食つき)

講師略歴：ジャーナリスト、アムステルダム大学名誉教授。1941年 オランダ生まれ。72年より「NRC ハンデルスブラット」紙の東アジア特派員、82年より日本外国特派員協会会長を務め、「フォーリン・アフェアーズ」誌、「インターナショナル・ヘラルド・トリビュー」誌などに寄稿している。世界的ベストセラーとなった「日本/権力構造の謎」(ハヤカワ文庫NF)のほか、「いまだ人間を幸福にしない日本というシステム」(角川ソフィ文庫)、「独立の思考」(孫崎亨との共著、角川学芸出版)、「日本に巣食う4つの“怪物”」(角川学芸出版)などの著作がある。

学堂会 2014年 10月講演会(11月開催)

日時：2014年11月5日(水)18:00~20:30(通訳つき)

講師：日本弁護士連合会・憲法問題対策本部・本部長代行 山岸 良太 弁護士

演題：「集团的自衛権行使の閣議決定について」

場所：日本財団ビル 2階 第1会議室 港区赤坂 1-2-2

参加費：一般 2000円、学生 1000円 (軽食つき)

講師略歴：

1978年3月東京大学法学部 卒。1980年弁護士登録

1999年4月から第二東京弁護士会副会長

2013年4月から第二東京弁護士会会長。日本弁護士連合会・副会長等を歴任し、2014年6月から日本弁護士連合会・憲法問題対策本部・本部長代行を務める。(本部長は日本弁護士連合会会長・村越進弁護士)

著書・論文に「「社外取締役ガイドライン」の解説」(株式会社商事法務)、「法と実務 vol.9 司法改革の奇跡と展望」(株式会社商事法務)、「なぜ集团的自衛権の行使容認に反対するのか日本弁護士連合会の見解と取り組み」(世界 2014年8月号 No.859,岩波書店)等。

学堂会 2014 年 9 月講演会

日時：2014 年 9 月 16 日(火)18:00-20:00 (日→英通訳つき)

講師：上 昌広氏

演題：「岐路に立つ日本－わたしに何ができる」

場所：憲政記念会館会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：一般 2000 円、学生 1000 円 (軽食つき)

主催：学堂会

後援：財団法人 尾崎行雄記念財団

学堂会 2014 年 6 月講演会

日時：2014 年 6 月 25 日(水)18:00-20:00 (日→英通訳つき)

講師：オムニア マズーク博士

演題：「真のデモクラシーへ - 普通の人々が社会を変えられる」

場所：憲政記念会館会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：一般 2000 円、学生 1000 円 (軽食つき)

主催：学堂会

共催：公益社団法人国際 IC 日本協会・後援：財団法人 尾崎行雄記念財団

講師略歴：IofC インターナショナル会長。エジプト出身。外交官の父の赴任地を点々。シドニー大学医学部学位修得。リバプール大学医学部優等で博士号修得。小児科医として英国で活躍。医学教育、医学経営を修め小児科救急医療コンサルタントを勤めた。IofC を通して、特に文化や宗教を異にする人びとの間の対話の活動に力を注ぐと共に、西欧とイスラム・アラブ世界の相互理解を進める架け橋作りに勤めている。言語はアラビア語・英語・フランス語。イギリス在住。

学堂会 2014 年 5 月講演会

日時：2014 年 5 月 15 日(木)18:00-20:00(日→英通訳つき)

講師：竹本 和彦 氏

演題：「21 世紀に於けるサステナビリティ- 地球環境保全の視点から」

場所：憲政記念会館会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：一般 2000 円、学生 1000 円 (軽食つき)

主催：学堂会 後援：財団法人 尾崎行雄記念財団

講師略歴：竹本 和彦 氏

国連大学サステナビリティ高等研究所所長(2014 年 1 月より)。東京大学工学部卒業後、1974 年、環境庁(現「環境省」)に入庁。その後世界銀行環境専門家(1989-1992 年)などを経て、環境管理局長(2005-2008 年)、地球環境審議官(次官級)(2008-2010 年)などを歴任。2010 年 10 月より国連大学高等研究所シニア・フェロー。その間、気候変動枠組条約第 3 回

締約国会議 (COP3、1997 年)議長補佐、生物多様性条約第 10 回締約国会議(COP10、2010 年)議長代行、OECD 環境政策委員会副議長など歴任。工学博士(東京大学)。国際公共政策修士(ジョンズ・ホプキンス大学高等国際研究大学院〔SAIS〕)。

学舎会 2014 年 4 月講演会

日時：2014 年 4 月 16 日 (水) 18:00~20:30 (日→英通訳つき)

講師：孫崎 享 氏

演題：「世界の中から見える日本－歴史観点から」

場所：憲政記念会館 会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：一般 2000 円、学生 1000 円 (軽食つき)

主催：学舎会

後援：財団法人 尾崎行雄記念財団

学舎会 2014 年 3 月講演会 尾崎行雄記念財団 後援

日時：2014 年 3 月 14 日 (金) 18:00~20:30 (日→英通訳つき)

講師：伊勢 桃代 氏

演題：「一緒に考えよう、日本の教育」

場所：憲政記念会館 会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：一般 2000 円、学生 1000 円 (軽食つき)

尾崎行雄記念財団会員は無料：出席のご返事は尾崎財団 03-3581-1778 まで

学舎会 2014 年 2 月講演会 尾崎行雄記念財団 後援

日時：2014 年 2 月 28 日 (金) 18:00~20:30 (日→英通訳つき)

講師：小峰 隆夫 教授

演題：「アベノミクスはどうなるのか」

場所：憲政記念会館 会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：一般 2000 円、学生 1000 円 (軽食つき)

尾崎行雄記念財団会員は無料：出席のご返事は尾崎財団 03-3581-1778 まで

講師略歴：法政大学大学院政策創造研究科教授

日本経済研究センター研究顧問。1947 年 埼玉県生まれ。

1969 年東京大学経済学部卒。同年経済企画庁入庁、調査局内国調査第一課長、経済研究所長、物価局長、調査局長などを経て現職。

著書多し。近著は、「日本経済論の罪と罰」日本経済新聞出版 など。

学舎会 2014 年 1 月講演会

学舎会 2014 年 1 月講演会 尾崎行雄記念財団 後援

日時：2014年1月31日（金）18：00?20:30（通訳つき）

講師：カレル・ヴァン・ウォルフレン 氏

演題：「日本の未来のために」

場所：憲政記念会館 会議室 千代田区永田町 1-1-1

参加費：一般 2000 円、学生 1000 円（軽食つき）

尾崎行雄記念財団会員は無料：出席のご返事は尾崎財団 03-3581-1778 まで

講師略歴：オランダ人ジャーナリスト。日本を中心に活躍。「日本権力の構造」をはじめ、著書多し。近著は、「日本の5つの罠」など。

学堂会 2013 年 12 月講演会

日時：2013年12月11日（水）18：00～20:30（通訳つき）

講師：カレル・ヴァン・ウォルフレン 氏

演題：「日本、乱世をどう生きぬくか」

場所：日本財団ビル 2 階会議室 港区赤坂 1-2-2

参加費：一般 2000 円、学生 1000 円（軽食つき）

講師略歴：オランダ人ジャーナリスト。日本を中心に活躍。「日本権力の構造」をはじめ、著書多し。近著は、「日本の5つの罠」など。

学堂会 2013 年 11 月講演会のご案内

日時：2013年11月6日（水）18：00～20:30（通訳つき）

講師：彬子女王殿下

演題：「次世代に託す日本文化」

場所：日本財団ビル 2 階会議室 港区赤坂 1-2-2

参加費：一般 2000 円、学生 1000 円（軽食つき）

殿下御略歴：1981年12月20日、寛仁親王殿下の第一女子として誕生。学習院大学を卒業後、オックスフォード大学マートン・コレッジに留学。日本美術史を専攻し、海外に流出した日本美術に関する調査・研究を行い、2010年に博士号を取得。女性皇族として博士号は史上初。現在、立命館大学衣笠総合研究機構の特別招聘准教授と、慈照寺研修道場美術研究員に就任している。

また、子どもたちに日本文化を伝えるために「心遊舎」を創設。

心遊舎ホームページ <http://shinyusha.jp/>

学堂会 2013 年 10 月講演会のご案内

講師：秋葉 鏝二郎 博士

演題：「宇宙開発と国際社会」

学堂会 2013 年 9 月講演会のご案内

講師：大久 保賢一 氏

演題：「なぜ、今、改憲なのか？ - 憲法はどのようにかえられようとしているのか？」

学堂会 2013 年 6 月講演会のご案内

講師：木村 利人 氏

学堂会 2013 年 5 月講演会のご案内

講師：ペマ・ギャルポ 博士

演題：「日本本来の力、中国の危険性、インドの可能性」

学堂会 2013 年 4 月講演会のご案内

講師：村田 光平 氏

演題：「父性文明から母性文明へ - 地球倫理の確立を求めて」

学堂会 2013 年 3 月講演会のご案内

講師：ナスリン・アジム 氏

演題：「ベアテ・シロタ・ゴードン 女性と憲法」

学堂会 2013 年 2 月講演会のご案内

講師：丹波 實 氏

演題：「戦略なき日本 - その将来を憂慮する」

学堂会 2013 年 1 月講演会のご案内

講師：カレル・ヴァンウオルフレン 氏